

受付番号

15

承認番号

大歯医倫 第 110856 号

研究課題名

下顎枝矢状分割術と下顎枝垂直骨切り術を併用した下顎非対称症例の検討

研究責任者

中嶋 正博

申請者

中嶋 正博

所属

障がい者歯科

所属

障がい者歯科

職名

専任教授

職名

専任教授

申請の概要

下顎の非対称を伴う偏位症例に対して両側に下顎枝矢状分割術を適応した場合に、下顎骨の回転により分割後の近位骨片と遠位骨片間で干渉が生じたり、干渉による近位骨片の跳ね上がりや回転による顎関節への悪影響が生じたりすることが推測される。そのような危惧がある症例では片側を下顎枝矢状分割術と下顎枝垂直骨切り術を併用する術式が選択され、症例報告も散見される。

そこで、下顎の非対称症例に対して下顎枝矢状分割術と下顎枝垂直骨切り術を併用した症例に対して、術前、術直後、術後1か月、3か月、6か月および1年に撮影された頭部エックス線規格写真を用いて、継時的な変化を検討する。